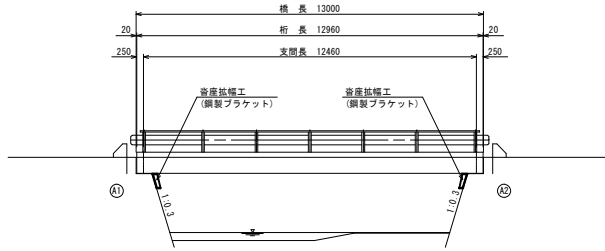


達川橋 耐震補強一般図

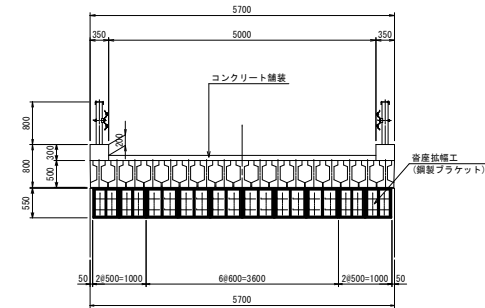
側面図

S=1:100



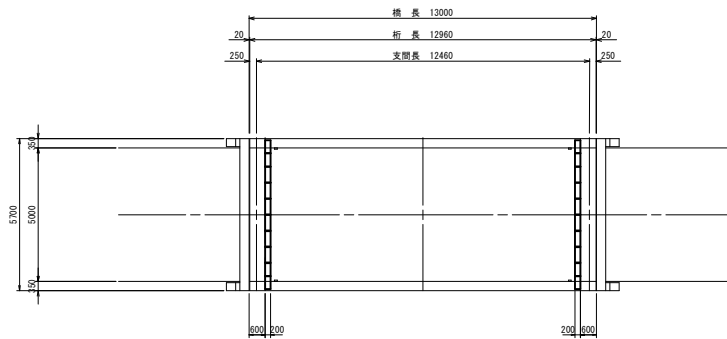
正面図

S=1:50



平面図

S=1:100



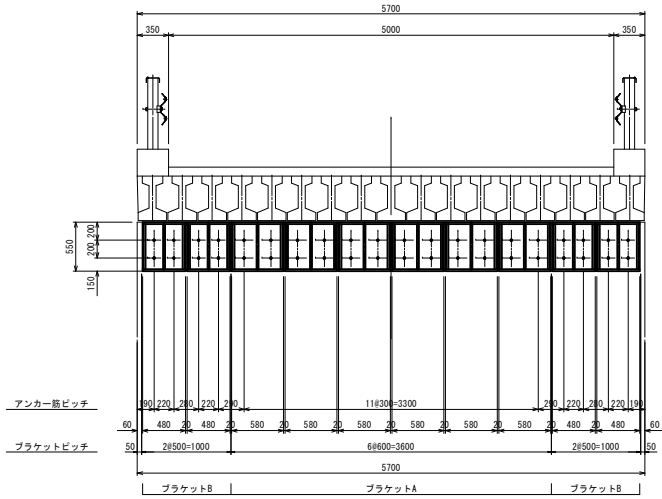
設計条件

構	格	-
上	部工形式	PC床版
H	構	長 13.000m
	桁	長 12.960m
	支	間長 12.460m
	全	幅員 5.700m
H	有	効幅員 5.000m
	斜	角 90° 00'
H	舗	装 コンクリート舗装
	支	承 ゴム支承
ト	橋	台 重力式(推定)
H	地	盤
	基	礎 -

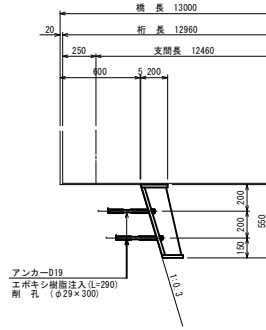
工	事	名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 達川橋 橋梁修繕耐震補強工事		
図	面	名	耐震補強一般図		
年	月	日			
尺	度	図	示	図面番号	7 頁之内 1
会	社	名			
事	務	所	名	多気町	

A1橋台沓座拡幅詳細図

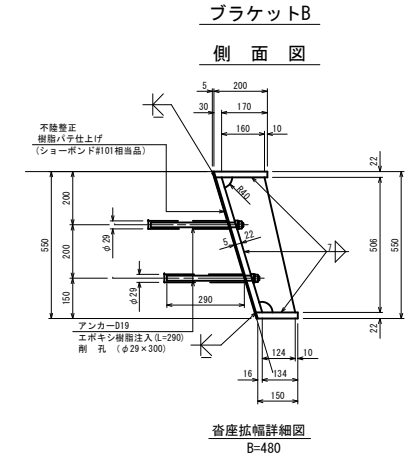
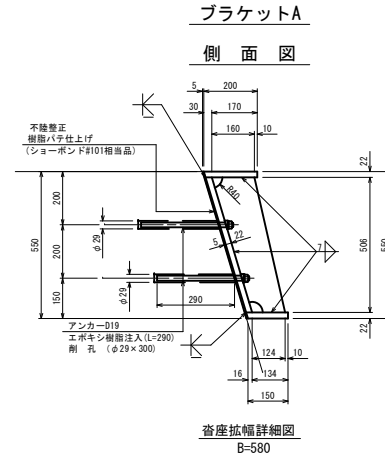
正面図
S=1:30



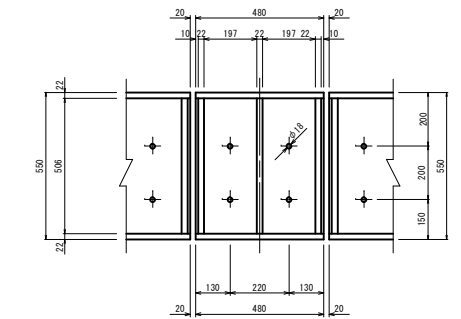
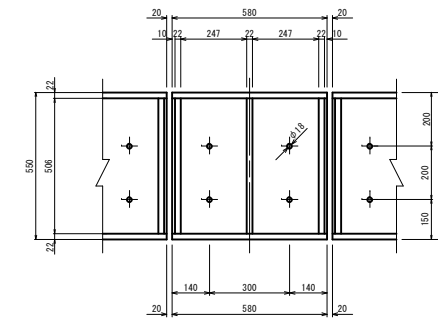
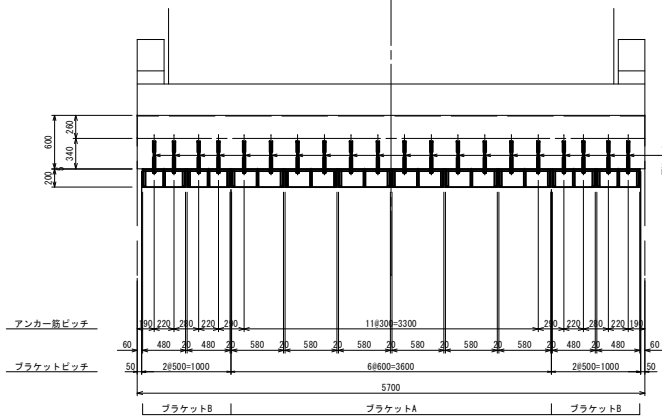
断面図
S=1:20



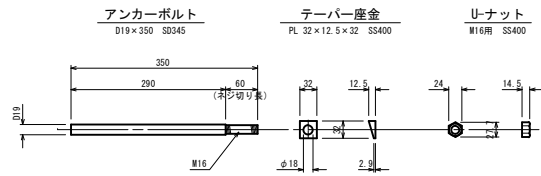
鋼製ブラケット詳細図
S=1:10



平面図
S=1:30



アンカーボルト詳細図
S=1:5

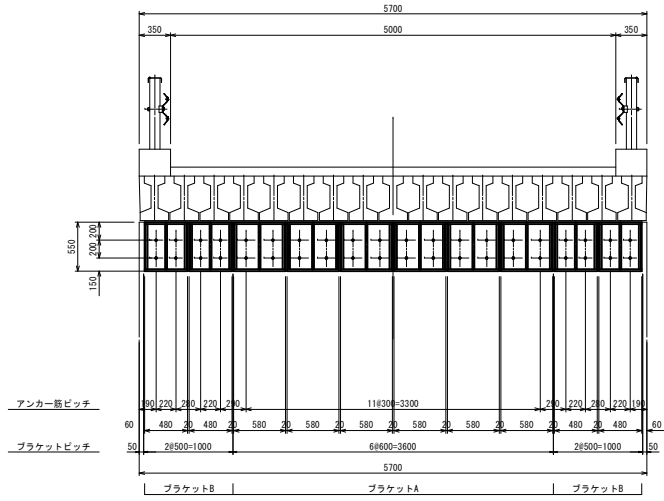


- 注) 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 鋼材は全て溶融亜鉛メッキを施すこと。ただし、アンカーボルトはネジ部のみとする。付着量は、鋼材 JIS8641 H0Z55 アンカーボルト、Nut、Washer JIS8641 H0Z55
3. ブラケットの取付及びアンカー孔の位置については、現地再確認後、調整すること。現場に於いては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないようにすること。
4. アンカー筋は、150以上の定着長を確保すること。
5. () 内は、参考値とする。

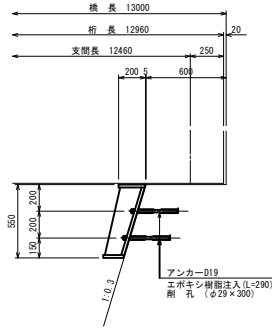
工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 遠川橋 橋梁修繕耐震補強工事
図面名	A1橋台沓座拡幅詳細図
年月日	
尺度	図示 図面番号 7 頁之内 2
会社名	
事務所名	多気町

A2橋台沓座拡幅詳細図

正面図
S=1:30



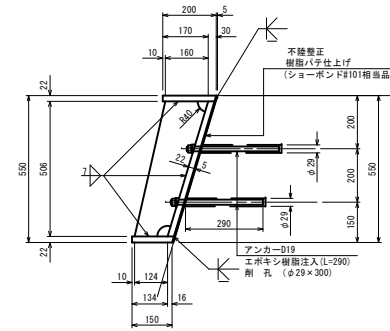
断面図
S=1:20



鋼製ブラケット詳細図
S=1:10

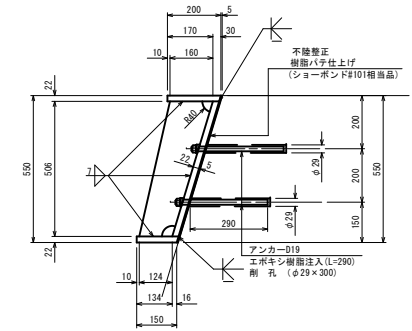
ブラケットA

側面図

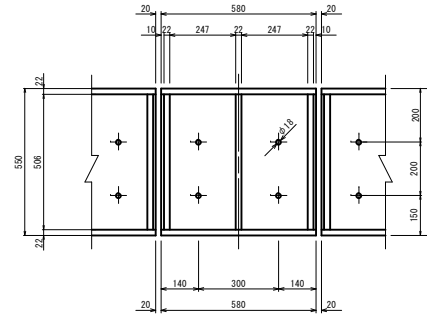


ブラケットB

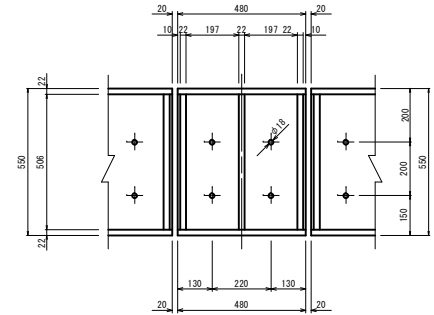
側面図



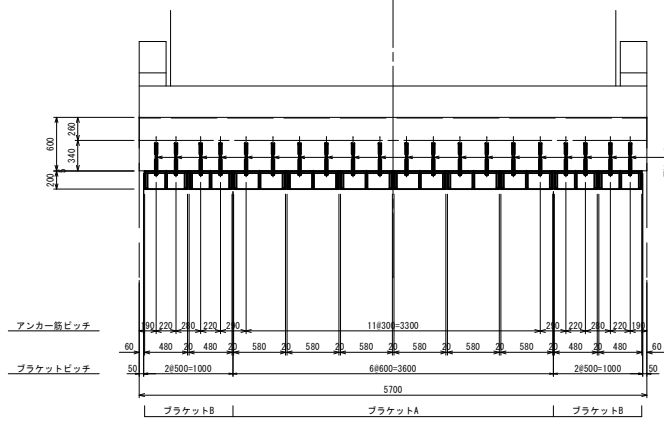
沓座拡幅詳細図
B=580



沓座拡幅詳細図
B=480



平面図
S=1:30



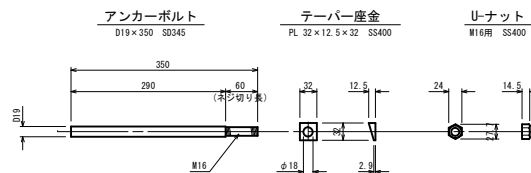
沓座拡幅 (1基当り) N=6基

- 1-PL 200×22×580
- 3-PL 275×22×506
- 1-PL 157×22×480
- 1-PL 580×22×535
- 4-Anc Bolt D19×350 (SD345, NN付)

沓座拡幅 (1基当り) N=4基

- 1-PL 200×22×480
- 3-PL 275×22×506
- 1-PL 157×22×480
- 1-PL 480×22×535
- 4-Anc Bolt D19×350 (SD345, NN付)

アンカーボルト詳細図
S=1:5



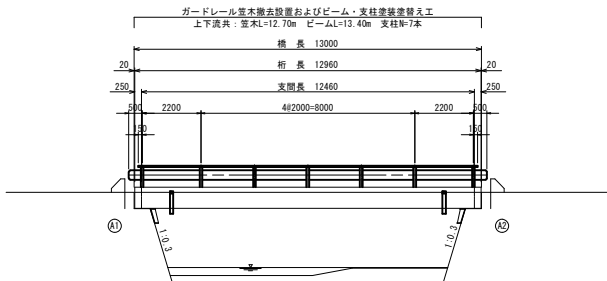
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 鋼材は全て溶融亜鉛メッキを施すこと。ただし、アンカーボルトはネジ部のみとする。付着量は、鋼材 JIS8641 H0255 アンカーボルト, Nut, Washer JIS8641 H0235
3. ブラケットの取付及びアンカーボルトの位置については、現地再確認後、調整すること。施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切断しないようにすること。
5. アンカーボルトは、150以上の定着長を確保すること。
6. () 内は、参考値とする。

工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 遠州橋 橋梁修繕耐震補強工事
図面名	A2橋台沓座拡幅詳細図
年月日	
尺度	図示 図面番号 7 頁之内 3
会社名	
事務所名	多気町

遠川橋 修繕工一般図

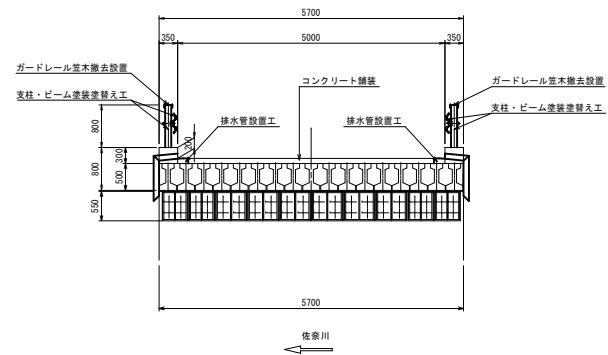
側面図

S=1:100



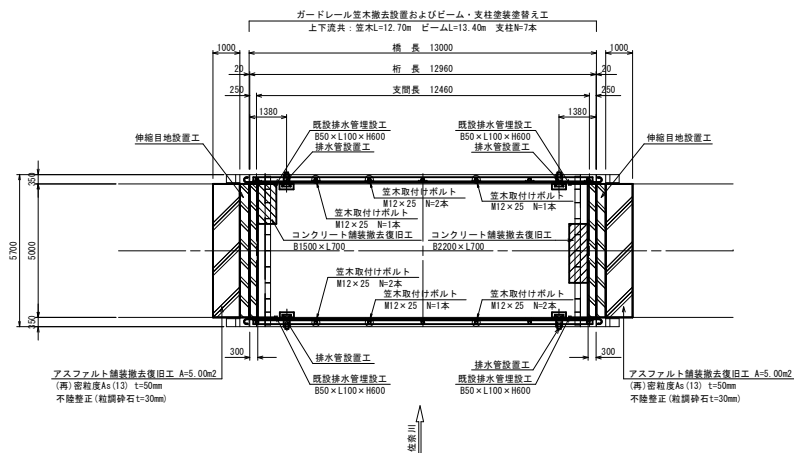
正面図

S=1:50



平面図

S=1:100



設計条件

項目	内容
橋格	-
上部工形式	PC床版
橋長	13.000m
桁長	12.960m
支間長	12.460m
全幅員	5.700m
有効幅員	5.000m
斜角	90° 00'
舗装	コンクリート舗装
支承	ゴム支承
橋台	重力式(推定)
基礎	-

※コンクリート舗装の規格は 24-12-20(超遅硬のPCC)とする。

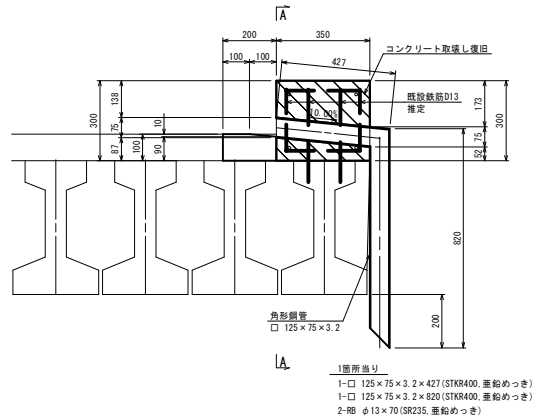
工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 遠川橋 橋梁修繕創設補修工事		
図面名	修繕工一般図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	7 裏之内 4
会社名			
事務所名	多気町		

修繕工詳細図(1)

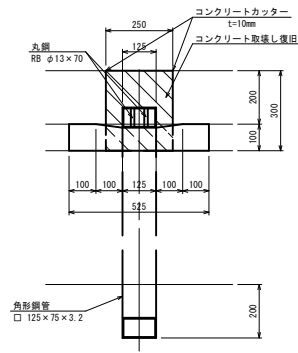
排水管設置工

S=1:10

断面図

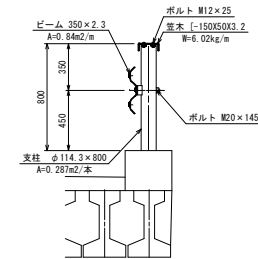


A-A断面図

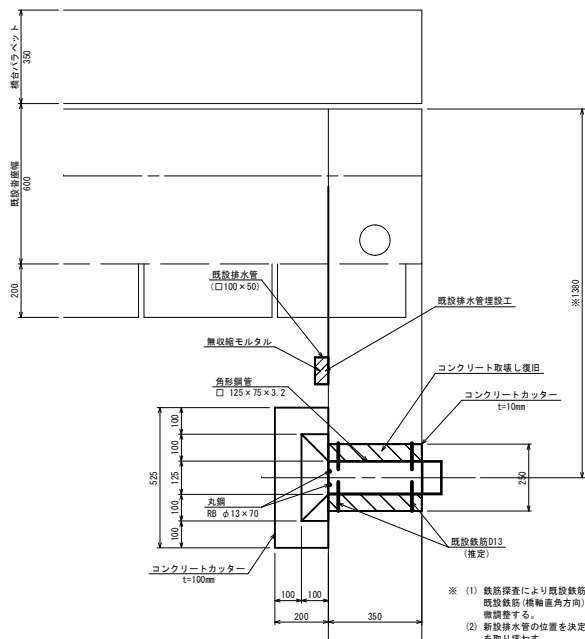


ガードレール詳細図

S=1:20

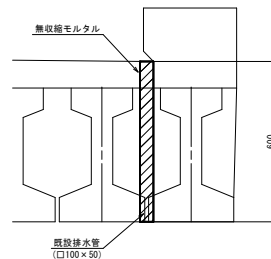


平面図



既設排水管理設工

S=1:10



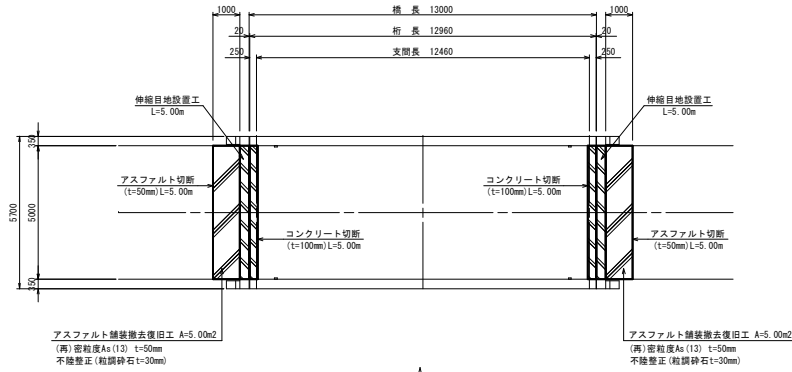
- ※ (1) 鉄筋探査により既設鉄筋の位置を把握する。
既設鉄筋(橋軸方向)を切断することの無いよう、※の寸法を厳密にする。
(2) 新設排水管の位置を決定し、その位置より上下に125mmずつ地覆を取り替わす。
その際、既設鉄筋はできる限り切断しないようにすること。
(3) コンクリートの規格は以下の通りとする。
地覆 24-8-25B8
路面 24-12-20(超遅硬39kg/t)

工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 遠川橋 橋梁修繕耐震補強工事		
図面名	修繕工詳細図(1)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	7 頁之内 5
会社名			
事務所名	多気町		

修繕工詳細図(2)

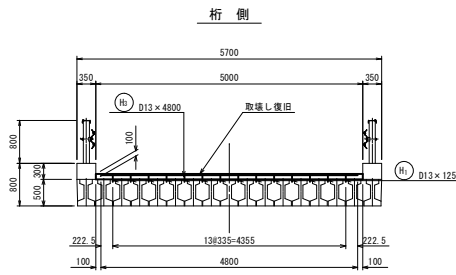
平面図

S=1:100

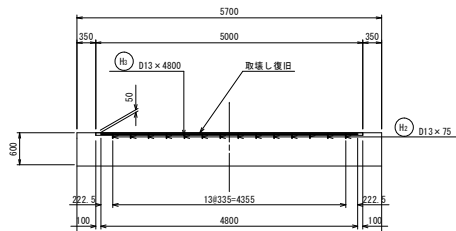


断面図

S=1:50



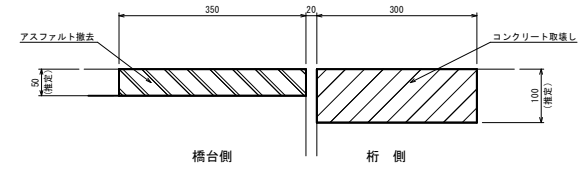
橋台側



伸縮目地設置工

S=1:5

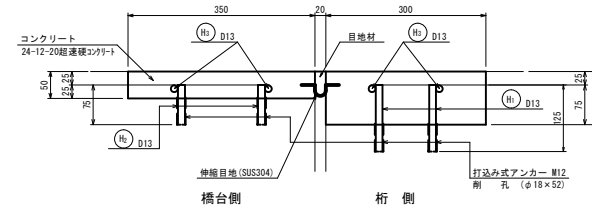
撤去時



橋台側 桁側

※橋台側はアスファルトを撤去しコンクリート面を露出させること。

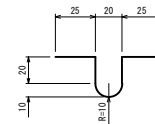
設置時



橋台側 桁側

伸縮目地詳細図

S=1:2



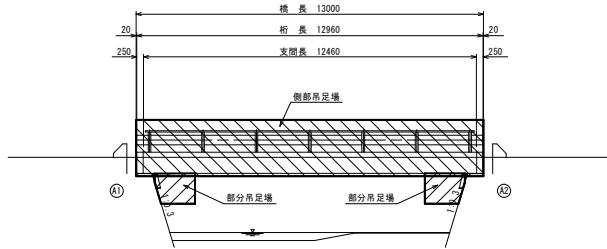
2-PL 121.4 x 0.8 x 5000 (SUS304)

工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 遠川橋 橋梁修繕創設補強工事		
図面名	修繕工詳細図(2)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	7 頁之内 6
会社名			
事務所名	多気町		

仮設足場工 参考図

側面図

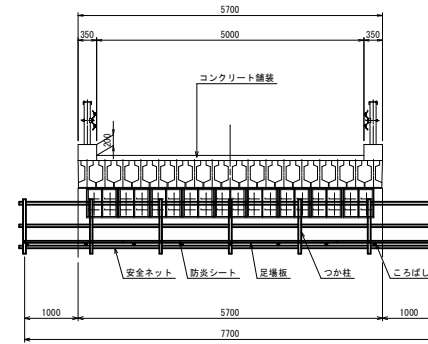
S=1:100



正面図

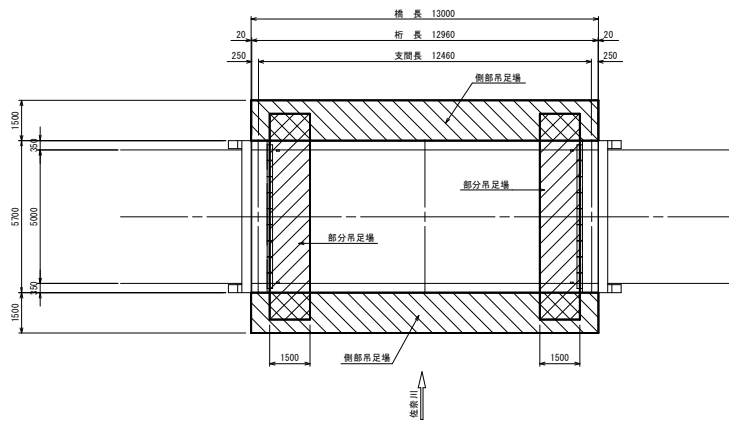
S=1:50

部分吊足場

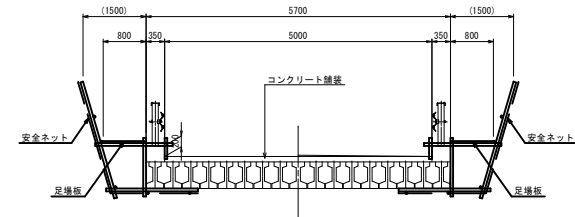


平面図

S=1:100



側部吊足場



工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 遠川橋 橋梁修繕耐震補強工事		
図面名	仮設足場工 参考図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	7 頁之内 7
会社名			
事務所名	多気町		